agriculture

乗用型トラクターの「安全」・「盗難防止」対策

西部農業事務所
普及指導課
佐藤　吉雄

1　乗用型トラクターによる事故防止のポイント

①取扱説明書を読んで機械の特性を把握してから作業しましょう。取扱説明書は保管場所を決め、いつでも読めるようにしておきましょう。

②危険が潜む場所は草刈り等で見通しを良くしておきましょう。

③操作時は、常に周囲の人間の安全を確認し、ホーンなどで合図を行いましょう。

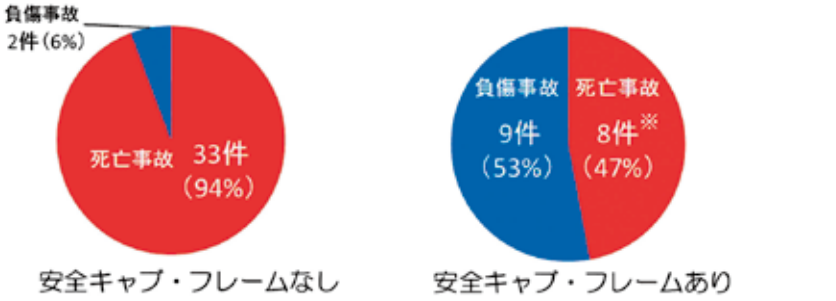
④安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用し、シートベルトの着用を徹底しましょう。

⑤田畑へ出入りの際は速度を落とし、溝や畦の傾斜に対し、直角の向きで走行しましょう。

⑥駐停車するときはブレーキを確実にかける習慣を身につけましょう。

⑦操作ミスを防止するため、田畑から出る前にブレーキを連結しましょう。

⑧点検整備の際や機械の異常を感じたときは、エンジンを止め油圧昇降装置もロックし、巻き込まれ事故を防止しましょう。



※　安全キャブ・フレームありの死亡事故（8件）についてみると、うち5件はシートベルト未着用（推定を含む）。
都道府県事故情報（平成22年4月～平成23年3月）詳細分析結果

図１　安全キャブ・フレームの有無による事故割合

図２　ブレーキの連結

2　盗難防止対策

近年、農業機械の盗難が多発しています。次の点に注意しましょう

①田畑に農業機械を放置しないようにしましょう。ユニックで車体ごと吊り上げて持って行かれることもあります。

②トラクター及び格納場所には必ず鍵をかけておきましょう。

③ハンドルロックやワイヤーロックで施錠しましょう。

図３　盗難注意!!